

令和8年度 シラバス 【科学と人間生活】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材
科学と人間生活	2	1	61 啓林館 科人061-901 高等学校 科学と人間生活 改訂版	啓林館 高等学校 科学と人間生活の学習ノート 改訂版

- ◇科目の概要と目標
- 1 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。
  - 2 身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める
  - 3 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。
  - 4 科学に対する興味・関心を高める。
  - 5 科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身に付ける。

◇科目の観点別評価の目標

知識・技能(商業は知識・技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての	自然の事象・現象から問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、人間生活と関連付けて科学的に探究している。	自然の事象・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

月	4月	5月	6月	7月
科目名	単元1	単元2	単元3	単元4
科学と人間生活	序章 科学技術の発展	第1部 生命の科学 第2章 微生物とその利用 A 生態系における微生物	中間考査	第1部 生命の科学 第2章 微生物とその利用 B 微生物と人間の食生活 C 微生物と医学への利用
知識・技能 商業は知識・技術	通信、医療、交通の技術がどのように移り変わったかを羅列できるかを評価する。	微生物の種類、炭素や窒素の変化を理解できているかを評価	単元1, 2内の重要語句に関する問い約30点分	微生物発見の歴史や食品への利用、医療や健康へ微生物がどのように利用されているかを理解できているかを評価する。
思考・判断・表現	変化が今後どのようになるかをグループで話し合い、授業プリントでまとめたものを評価する。	既習の顕微鏡の使い方を再現できるかを評価する。 炭素や窒素の循環図をプリントで評価	単元1, 2に関する思考問題、判断問題約70点分	微生物の発見に関する実験や発酵の課程、医学に貢献した科学者についてプリントやタブレットを使用して調べ、まとめたものを評価する。
主体的に学習に取り組む態度	グループの話し合いに参加し取り組み姿勢を評価の参考にする。	微生物の区分けに取り組めたかを評価の参考とする。	考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	グループの話し合いに参加し取り組み姿勢を評価の参考にする。
月	7月	9月	10月	11月
科目名	単元5	単元6	単元7	単元8
科学と人間生活	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品 B 食品の科学	第3部 光や熱の科学 第2章 熱の性質とその利用 A 熱とは何か	中間考査	第3部 光や熱の科学 第2章 熱の性質とその利用 B エネルギーの利用
知識・技能 商業は知識・技術	栄養素として食品に含まれる物質がどのように身体をつくるかを理解しているかを評価する。	眼に見えない熱とはどのようなものかを説明できるかを評価する。	単元5, 6内の重要語句に関する問い約30点分	眼で見えないエネルギーをどのように利用しているかを説明できるかを評価する。
思考・判断・表現	さまざまな栄養素の構造を話し合い、「どのように結合しているか」を書き表すことができるかを評価する。	熱を、公式を用いて計算によって考え、書き表すことができるかを評価する。	単元5, 6内の施行問題、計算問題を約70点分	エネルギーの変換を、図や公式を用いて計算によって考え、書き表すことができるかを評価する。
主体的に学習に取り組む態度	グループの話し合いに参加し取り組み姿勢を評価の参考にする。	グループでの検討会に参加し取り組み姿勢を評価の参考にする。	考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	グループでの検討会に参加し取り組み姿勢を評価の参考にする。
月	12月	1月	2月	3月 年間
科目名	単元9			学年末考査
科学と人間生活	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 B 潮の満ち引き C 太陽放射と地球 D 大気の運動			総合評価
知識・技能 商業は知識・技術	太陽や月が地球に与える現象を説明できるかを評価する。			単元9内の重要語句に関する問い約40点分
思考・判断・表現	太陽や月が地球に与える影響がどのように人間の生活に影響を与えるかを班で話し合いで切るかを評価する。			単元9に関する思考問題、判断問題約60点分
主体的に学習に取り組む態度	グループの話し合いに参加し取り組み姿勢を評価の参考にする。			考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映